

チーム麻績 力強く走り抜きました

【市町村対抗駅伝大会（4月28日）報告】

麻績村チーム 記録26分14秒 60位

（平成29年度 26分23秒 59位）

汗ばむほどの好天に恵まれた当日、応援に駆けつけてくださった友達やご家族、村教委の皆様が見守るなか、6名のメンバーから選抜された4名の6年生が力走しました。たす

きを引き継ぐまで力を緩めることのない走りはとても立派でした。記録も昨年度チームの力走を上回りました。来年度に向けての目標タイムとなることでしょう。冬場（昨年度）からの6名の皆さんの練習、お疲れ様でした。村関係者の皆様、保護者の皆様、大会まで選手をお支えくださりまして、ありがとうございました。



これがチーム麻績「選手+応援団」



学校を支える6年生

音楽の時間や全校音楽では中島先生指導の下、リズムパーカッションの活動が始まりました。昨年度の音楽会でも披露されましたが、各学年それぞれのリズム打ちを行って、それを他学年と重ねていくものです。今年度はさらに楽しさ倍増のものになりそうで、わくわくしています。特に嬉しいのが、6年生がしっかり手を打ち、大きな声



響く6年生の声

響く6年生の声

を出して参加していることです。高学年ともなれば、人前でのそういった表現活動が恥ずかしいという感情も芽生えて当然かと思えます。でも、それを乗り越えることができるのは、自分たちのやっていることに対する自信、そして周囲の反応を気にしすぎないでいられるおおらかさにもよるのではないかと思い、それができる6年生をとて素晴らしいと思えます。歌声にも自信をもっている6年生。きっと音楽会をより高めてくれるものと、期待しています。

16日朝には、友達グループの打ち合わせ、そして給食室手作りのお弁当をいただく『なかよし給食』がありました。そのどちらも明日（18日）の『学校みどりの日』に向けての活動です。6年生はいつもリーダーとしての働き



6年生がリーダーシップを発揮して

を期待されます。ある6年生は、目的地の聖高原でお弁当の後にグループで行うレクのために準備してきたゲームを「お試し」でやってみました。いくつか準備したうちから一つのゲームのやり方を紹介し始めたのです。すると、説明を聞き終える前から「そんなのつままない」という声が低学年

の子からあがりました。「どうするかな」「大丈夫かな」と心配になったのですが、ひるむことなく説明を続けて、ゲームを開始しました。その低学年の子も、もちろんそのゲームの輪に加わって、嬉々としてそのゲームを楽しんでいるのでした。この6年生の姿からも、自分の準備したことや、班長としての自分に対する自信が持てていることが感じられたのです。

いいえ、自信などというものは簡単に持てるわけではないのかも知れません。自信があるように振る舞うことも含めて、それが本物へと深化していくものなのかも知れません。ともかく、そんな今の6年生の姿にわたしはおおいに期待して、その育ちを楽しみにしています。



心のこもった手作りお弁当をいただく

明日の「学校みどりの日」が今からとても楽しみなのです。